

2025 年度大学女子チーム創出支援 活動報告書

協会名 千歳地区サッカー協会
チーム名 北海道文教大学女子サッカー部
報告者名 木村愛

北海道文教大学女子サッカー部の木村と申します。

2025年度、北海道文教大学女子サッカー部はいくつかの大会に参加させていただきました。その中でも、印象深く残った大会について書かせていただきます。

まず、1大会目は参加した中でも一番大きい大会にあたる「全日本大学女子サッカー選手権大会 北海道予選」です。結果は大差で負けてしまいました。ですが、今季初の日光を浴びて90分11人制サッカーで全員疲労が凄かったのにも関わらず、終わってほしくないと思えました。

次に、2大会目は道新カップです。8人制の大会で人数が少ない私たちにとってありがたい大会でした。優勝を目指して頑張りましたが敗北してしまいました。美味しいシャインマスカットを頂いて疲れも抜けました。

最後に、3大会目は北海道エスクエラプログラムです。4年生は国家試験の時期と重なっており、なかなか参加できませんでした。そのため、4人で試合に参加する時もありました。試合には負けても、点数が取れたことの喜びや試合後の達成感を味わうことができました。

辛い状況の試合でも楽しいと思えることには多くの要因があると考えます。まず、一緒に最後までサッカーをしてくれる文教大学女子サッカー部の仲間がいるからだと考えます。疲れていてもミスをして笑いに変え、楽しくサッカーをすることの素晴らしさを思い出させてくれました。また、勝利を確信していても最後まで私たちとサッカーをくださる対戦チームの皆さんがいるから最後までサッカーをすることができます。そして、何よりも最後まで応援してくれる保護者の皆様や未熟な私たちに付き合い可能性があると信じてくれている松田監督をはじめ、北海道文教大学女子サッカー部のスタッフの皆様がいてくださっているからだと考えます。

私たちの多くが国家資格をとるために北海道文教大学に入学しています。そのため、勉強や実習等で普段の練習も参加できないことが多く、試合前にも全員が揃って最終確認ができない状態です。実際に試合に参加させていただいても、人数が揃わないことが多く、練習量も多くないため体力も技術もありません。また、入部した人の中には未経験者の方もいます。この状況の中でも、大学女子サッカーチームとして承認していただけていること本当に感謝しています。

2026年度は、昨年度参加させていただいた大会の他、育成リーグにも参加させていただきます。北海道文教大学女子サッカー部一同、多くの関係者への感謝の気持ちとリスペクトを忘れずにプレーしていきます。

2026年度も宜しくお願い致します。

